

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	整形外科学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年	学期	前期	教室名	902教室
担 当 教 員	小嶋 高広				
実務経験と その関連資格	理学療法士として金沢整形外科クリニック(滋賀県)に7年間、丸太町リハビリテーションクリニック(京都府)に3年間勤務。 主に整形外科疾患・スポーツ障害を有する症例患者を対象とした外来リハビリテーションに従事。年間100症例以上を担当。 野球やゴルフ領域の研究発表・論文が複数。認定理学療法士(運動器)、修士号(スポーツ健康科学)取得。				
《授業科目における学習内容》					
整形外科学の学域は、理学療法士にとって最も重要な領域の一つである。本講義では、理学療法士にとって必須となる整形外科の考え方や整形外科疾患の基礎知識を修める。理解した内容はすぐに臨床で実践できるように臨床現場で働いている感覚で評価・治療を実践できることを到達目標とする。					
《成績評価の方法と基準》					
最終評価＝前半・後半確認テスト×20%＋定期試験×80%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
①中村利孝ら(監)標準整形外科学第15版, 医学書院, 2023 ②島田洋一ら(編)改訂第3版整形外科学後理学療法プログラム, メジカルビュー社, 2020 ③石川朗(編). 理学療法テキスト運動器障害理学療法学Ⅰ 第2版, 中山書店, 2021 ※参考図書は適宜提示する。					
《授業外における学習方法》					
①教科書の通読による自己学習(予習, 復習) ②配布資料(授業スライド, 復習プリント, 前半・後半確認テスト)に沿った自己学習					
《履修に当たっての留意点》					
①解剖学, 生理学の知識を基に理解が深まるので, 大いに復習すること。 ②近い将来, 臨床で出会う症例を想像しながら臨み, この授業で学ぶ知識, 技術を自分のものとしていただきたい。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	上肢骨折について理解する	教科書①～③	教科書①～③の通読	
	各コマにおける授業予定	骨折・脱臼(1) 上肢(肩関節脱臼、上腕骨近位端骨折、橈骨遠位端骨折)			
第2回	授業を通じての到達目標	上肢骨折について理解する	教科書①～③	教科書①～③の通読	
	各コマにおける授業予定	骨折・脱臼(2) 上肢(肩関節脱臼、上腕骨近位端骨折、橈骨遠位端骨折)			
第3回	授業を通じての到達目標	上肢骨折について理解する	教科書①～③	教科書①～③の通読	
	各コマにおける授業予定	骨折・脱臼(3) 上肢(肩関節脱臼、上腕骨近位端骨折、橈骨遠位端骨折)			
第4回	授業を通じての到達目標	上肢骨折について理解する	教科書①～③	教科書①～③の通読	
	各コマにおける授業予定	骨折・脱臼(4) 上肢(肩関節脱臼、上腕骨近位端骨折、橈骨遠位端骨折)			
第5回	授業を通じての到達目標	下肢骨折について理解する	教科書①～③	教科書①～③の通読	
	各コマにおける授業予定	骨折と脱臼(5) 下肢(大腿骨頸部骨折、脛骨近位端骨折)			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	下肢骨折について理解する	教科書(①～③)	教科書(①～③)の通読
	各コマにおける授業予定	骨折と脱臼(6) 下肢(大腿骨頸部骨折、脛骨近位端骨折)		
第 7 回	授業を通じての到達目標	下肢骨折について理解する	教科書(①～③)	教科書(①～③)の通読
	各コマにおける授業予定	骨折と脱臼(7) 下肢(大腿骨頸部骨折、脛骨近位端骨折)		
第 8 回	授業を通じての到達目標	下肢骨折について理解する	教科書(①～③)	教科書(①～③)の通読
	各コマにおける授業予定	骨折と脱臼(8) 下肢(大腿骨頸部骨折、脛骨近位端骨折)		
第 9 回	授業を通じての到達目標	体幹部の骨折について理解する	教科書(①～③)	教科書(①～③)の通読
	各コマにおける授業予定	骨折と脱臼(9) 体幹部の骨折(脊椎圧迫骨折、肋骨骨折、骨盤骨折を中心に)		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	体幹部の骨折について理解する	教科書(①～③)	教科書(①～③)の通読
	各コマにおける授業予定	骨折と脱臼(10) 体幹部の骨折(脊椎圧迫骨折、肋骨骨折、骨盤骨折を中心に)		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	先天性骨系統疾患・先天異常症候群について理解する	教科書(①～③)	教科書(①～③)の通読
	各コマにおける授業予定	先天性骨系統疾患・先天異常症候群		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	四肢循環障害と阻血壊死性疾患	教科書(①～③)	教科書(①～③)の通読
	各コマにおける授業予定	四肢循環障害と阻血壊死性疾患について理解する		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	画像所見について理解する	教科書(①～③)	教科書(①～③)の通読
	各コマにおける授業予定	単純X線像・MRI画像・超音波		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	画像所見について理解する	教科書(①～③)	教科書(①～③)の通読
	各コマにおける授業予定	単純X線像・MRI画像・超音波		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	全体まとめ	教科書(①～③)	教科書(①～③)の通読
	各コマにおける授業予定	これまでの内容確認		